

延岡市景観計画区域内行為事前協議書

延岡市長 殿

届出者
郵便番号
住 所
氏 名
電話番号

延岡市景観要綱第10条の規定により、次のとおり協議します。

行為の 場所等	延岡市		
行為の 期間	着手予定日	年 月 日	完了予定日 年 月 日
設 計 者 (代理者)	郵便番号 住 所 氏 名 事務所名	(電話)	
施 工 者	郵便番号 住 所 氏 名 事務所名	(電話)	
工作物の 概要	種類		
	規模	(構造)	(高さ) m
	仕上材		
	色彩 (マンセル値)		

設計上特に配慮した事項※配慮した部分について□にチェックしてください。

配 慮 し た 事 項	
配 置	<input type="checkbox"/> 道路等の公共用地に面する建築物等の壁面は、境界線からできる限り離れた位置に配置し、オープンスペースの確保に努めることにより、公共空間と一体となったゆとりある配置となるように配慮した。 <input type="checkbox"/> 周辺のまちなみとの調和や連続性に配慮した配置とした。 <input type="checkbox"/> 既にまちなみが形成されている地域では、周辺のまちなみとの調和や連続性に配慮した配置とした。 <input type="checkbox"/> 山なみの稜線などへの良好な眺望に配慮した配置となるように努めた。 <input type="checkbox"/> その他 ()
高 さ	<input type="checkbox"/> 周辺の(まちなみ・海浜景観)から突出した、(まちなみ)景観と不調和な高さとならないように配慮した。 <input type="checkbox"/> 山なみの稜線などへの良好な眺望を阻害しない高さとなるように努めた。 <input type="checkbox"/> 橋梁などの主要な視点場から見て、河川景観と調和した高さになるように配慮した。 <input type="checkbox"/> 周辺の(田園・自然)景観と調和した、まとまりのある高さとなるように配慮した。 <input type="checkbox"/> 城山周辺地区については、建築物等の高さを標高21m以下とした。 <input type="checkbox"/> 建築物等の高さは、周囲の建築物等と調和したスカイラインを形成するよう努めた。 <input type="checkbox"/> その他 ()
形 態 意 匠	<input type="checkbox"/> 周辺のまちなみや自然景観との調和に配慮した、まとまりと落ち着きのある形態・意匠とした。 <input type="checkbox"/> 大規模な建築物の外壁は、形態の工夫や目地・色彩による分節化等により、圧迫感を感じさせないように配慮した。 <input type="checkbox"/> 山なみの稜線などへの良好な眺望を阻害しない形態となるように配慮した。 <input type="checkbox"/> 建築物の形態やファサードデザインの統一などにより、連続性のあるまちなみ景観の形成に努めた。 <input type="checkbox"/> 特に、まちなみ低層部の連続性の確保、デザインの高質化等により、にぎわいと統一感の演出に努めた。 <input type="checkbox"/> 道路に面する建築物等の1階部分については、中心市街地にふさわしい外観とし、シャッターは夜の景観に配慮した意匠とした。 <input type="checkbox"/> 橋梁などの主要な視点場からの見え方に配慮した。 <input type="checkbox"/> 連続性のあるまちなみ景観の形成に努めるとともに、歴史的雰囲気と調和した風格のある景観を形成するような形態・意匠とした。 <input type="checkbox"/> 城山や愛宕山、今山などからの眺めを妨げないような形態となるように努めた。 <input type="checkbox"/> その他 ()
色 彩 材 材	<input type="checkbox"/> 周辺のまちなみや自然景観と調和した落ち着いた色彩・素材とした。 <input type="checkbox"/> 色彩については、マンセル値によりR、YR、Yは彩度6以下、その他の色相は彩度4以下とした。 <input type="checkbox"/> 屋根面はできる限り無彩色または低明度・低彩度色を使用し、まちなみや自然などの周辺景観と調和したものとした。 <input type="checkbox"/> 延岡らしさを感じさせる地場産の素材を積極的に取り入れるように努めた。 <input type="checkbox"/> 過度に光沢、反射する素材の使用を避け、耐久性・耐候性に優れた素材を積極的に取り入れるように努めた。 <input type="checkbox"/> 愛宕山、城山、今山などの主な視点場から見える屋根又は屋上部分については、良好な眺望を阻害しないように配慮した。 <input type="checkbox"/> 木材や石材等の自然素材色と類似した色調を基調とするなど、四季の移り変わりとの調和も考慮した色彩とした。 <input type="checkbox"/> その他 ()
緑 化	<input type="checkbox"/> 既存の樹木の保全や風土に合った樹種の採用により、地域固有の景観の保全・育成に努めた。 <input type="checkbox"/> 道路など公共用地から見える場所については、できる限り緑化に努めた。 <input type="checkbox"/> 道路など公共用地から見える場所については、周辺に調和した植栽、花壇等により、四季の移り変わりを積極的に演出するよう努めた。 <input type="checkbox"/> 敷地内部は少ないスペースでも出来る限り緑化に努めた。 <input type="checkbox"/> 愛宕山、城山、今山などの主な視点場から見える場所については、できる限り屋上緑化や敷地内緑化に努めた。 <input type="checkbox"/> 庭先・店先に植栽スペースを確保したり、庭先・店先や窓辺を草花で彩るなどにより、美しい市街地景観の形成に努めた。 <input type="checkbox"/> 庭先・店先や窓辺を草花で彩るなどにより、美しい景観の形成に努めた。 <input type="checkbox"/> 道路境界と建築物等との間に適切に高木を配置するなど、緑に包まれたうるおいと落ち着きのある工場地景観の形成に努めた。 <input type="checkbox"/> その他 ()